

# アラカルト

愛知県鉄構工業協同組合 理事長  
(優良組合士)

石原義幸さん

広島食品工業団地協同組合  
専務理事 (協会運営功労者)

二藤 徹さん

## 組合の課題と常に 向き合う

**編集部** 前号に続きまして、愛知県鉄構工業協同組合の石原義幸理事長と広島食品工業団地協同組合の二藤徹専務理事のお二人に「組合と組合士」をテーマにお聞きします。

### ●労働者不足など課題は山積

**編集部** 現在の組合は、どのような状況ですか？

**石原** 建設業界では、若年労働者不足や資材の高騰など問題は山積しています。今どきの若者たちのいう「3K」とは「勤務地、給料、休日」なのだそうです。本人だけでなく親御さんも遠方への通勤や転勤をいやがりますし、天候などで仕事のスケジュールが急に変わることも敬遠されます。ですから、休日がきちんと決まっている製造業などに人材が流れてしまうのです。悔しい思いをしながらがんばるということが少ないと感じます。



二藤さん

**二藤** 私たちの業界も課題が増えて苦慮していました。たとえば「住工混在防止問題」(工業団地内に住宅が建設されると操業が制約される)や、排水処理場で生成されるメタンガス大気放出、また排水処理場運転管理者の後継者の問題です。

これらの問題は、簡単ではありませんでした

が、都市計画提案制度の利用、メタンガスのボイラー燃料化、運転管理を委託し管理者を委託先で再雇用することで解決してきました。しかし、原料の高騰などの問題もまだあります。

### ●合格よりも「理解」を優先

**編集部** これから組合士を目指される方にメッセージをお願いします。

**石原** 合格を目的にするのではなく、内容を理解することが大切だと思います。勉強して覚えたことは、仮に合格しなくても役に立ちます。

**二藤** 私もそう思います。もちろん合格した方がいいですが、まずは業務のためですね。日常の業務と併せて勉強できると思います。



石原さん

**石原** あとは組合側の課題として、組合士になった人の処遇向上にぜひ取り組んでいただきたいですね。チャレンジしやすいように合格率を上げることも検討が必要かと思います。また、合格したら総会の運営がスムーズになったことなど、好事例をアピールするといいいですね。

**二藤** 勉強そのものに意義がありますからね。仕事の質も高まって、結果は後からついてくると思います。

**石原** 一方で、「組合士の資格は必要ない」という考え方の人もまだ多いですね。しかし、関連する法律や理論を網羅して勉強すると、「この知識は、ウチの組合に必要なだ」と思えるものが必ず出てきますよ。

**二藤** おっしゃるとおりです。いかにして合格するか、ではなく、まずは勉強をしてみたいかがでしょうか。それに、組合士になると、異業種の組合士と知り合えることもメリットですね。困った時のよき相談相手になります。ぜひ受験していただきたいです。

**編集部** 今後の抱負をお願いします。

**石原** 組合士制度の発展のために、勉強を続けたいですね。組合士以外にも、実は37種類の資格を持っていて、社労士試験の準備もしています。

**二藤** 日々「協同組合の使命とは何か」と、自問しています。晴天の日に、翌日に降るかも知れない雨の準備をすることが大切だと思っています。

**二藤** 日々「協同組合の使命とは何か」と、自問しています。晴天の日に、翌日に降るかも知れない雨の準備をすることが大切だと思っています。